

日本メカニック株式会社 新社長就任のお知らせ



金属加工を手がける日本メカニック株式会社（本社：茨城県稲敷郡阿見町、以下「日本メカニック」）は2月27日（木）、新経営体制に移行し、代表取締役社長に栗津茂臣が就任したことをお知らせします。

なお、前代表取締役社長の洞下英人は、代表取締役会長に就任しました。

■新社長あいさつ

日本メカニックは創業以来、金属加工の技術力を活かし、お客さまの要望に素早く対応できる体制を築いてきました。特にシャフト・ローラーの試作品づくりの分野で「どこよりも早く提供する」をモットーに、企業、個人の研究開発における課題解決を支援しています。2021年9月には、サンコーテクノ株式会社（本社：千葉県流山市、以下「サンコーテクノ」）のグループ企業となり、ファスニング事業における金属加工の領域を拡げることに取り組んでいるところです。

これからも、社員一丸となり、お客さまのニーズに迅速かつ的確にお応えすることで、安心・安全で豊かな社会の実現に貢献していきます。

■新社長略歴



名前：栗津 茂臣（あわづ しげとみ）

生年月日：1976年1月15日（49歳）

出身地：滋賀県

略歴：1998年4月 サンコーテクノ 入社

2010年4月 サンコーテクノ 奈良工場長

2015年4月 サンコーテクノ 野田工場長

2021年9月 日本メカニック 常務取締役

2025年2月 日本メカニック 代表取締役社長

■日本メカニックとサンコーテクノの関係

1970年創業の日本メカニックは各種金属加工を手がけ、調達から生産まで一貫した体制で事業を展開しています。高い技術力を軸としたスピーディーな試作品づくりに定評があり、お客さまの多様なニーズに応えてきました。2021年9月、建設資材メーカーであるサンコーテクノのグループ企業となり、両社の強みを活かした協力体制を構築しています。

サンコーテクノは、あと施工アンカーの需要拡大が見込まれる土木分野において、特注品の製造体制を強化しています。インフラの保全補修に関わる現場の課題を深く見つめ、お客さまの要望に応じた製品開発を推進する中で、試作品づくりに強みを持つ日本メカニックと協業。開発スピードの向上と製品バリエーションの拡充を図っています。

両社は今後も密接に連携しながら、より安全で安心な土木インフラの整備に貢献し、建設業界が直面する課題解決に取り組めます。

■日本メカニック

所在地：茨城県稲敷郡阿見町福田 84-1

設立：1970年6月22日

社長：栗津 茂臣（あわづ しげとみ）

事業：各種金属部品の切削・研磨加工、シャフト・ネジ・板金・ゴムローラーの試作加工、測定器・各種治工具の設計・製造・販売

H P：<https://nichimecha.jp/>

■サンコーテクノ

所在地：千葉県流山市南流山 3-10-6

設立：1964年5月15日

社長：洞下 英人（ほらげ ひでと）

事業：建設資材（あと施工アンカー・ドリルビットなど）、複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工・輸出入

H P：<https://sanko-techno.co.jp/>

■プレスリリースに関するお問い合わせ先

サンコーテクノ 戦略推進室（志賀・川上）

Tel：04-7192-6637（直） / Mail：st-webmaster@sanko-techno.co.jp

本プレスリリースは、これまでに弊社広報担当と名刺交換をさせていただいた報道関係者にお送りしております。今後、弊社プレスリリースをご希望されない場合は、お手数ですが上記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。